

平成29年度 グローカルコース

地域理解活動 第1弾「口之津を知る」

5月23日（火）、グローバルコースの生徒たちは、ふるさとの地域理解深めるため、フィールドワークに取り組んでいます。まずは、その第1弾として口之津民族歴史博物館を訪問し、島原半島ジオパーク協議会の理学博士大野希一氏の指導のもと、口之津の歴史や文化を学びました。

その後、国立研究開発法人果樹研究所へ向かい、そこで研究されている柑橘についてお話を伺いました。口之津の自然を直接五感で体感しながらお話を聞けるという貴重な体験ができ、生徒たちはふるさとについて理解が一層深まったようです。

第2弾は、南島原市が抱えている課題や、それを踏まえた上での今後の展望について、南島原市役所にて学ぶ予定です。



さあ、はじまりはじまり…



大野氏の解説に真剣に聴き入る生徒たち



自分たちが住んでいるふるさとの、こんな歴史
があったんだなあ・・・

果樹研究所にて、柑橘についてのお話を伺いました。



早崎の地層や島原半島の成り立ちについて学びました。



有明海を背景に、はいっチーズ！



早崎半島を歩いて、実際地層や岩盤を目にしながら学びました。



樹齢300年を超えるクワ科の植物「アコウの木」の前で

